

令和6年度 山口大学教育学部附属特別支援学校 学校運営方針

学校・家庭・地域・大学と共有するグランドデザイン

山口大学教育学部附属特別支援学校

<国の動向>

- ・特別支援学校学習指導要領
- ・中教審答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して
- ・障害者の権利に関する条約
- ・障害者差別解消法
- ・こども基本法

<山口県の動向>

山口県教育振興基本計画

<山口大学の動向>

第4期中期計画(令和4~9年度)

学部・研究科等と連携し、実践的な実習・研修の場を提供するとともに、全国あるいは地域における先導的な教育モデルを開発し、その成果を展開することで学校教育の水準の向上をめざす。

第4期中期計画の具体

- ・特別支援教育のカリキュラムモデルの開発
- ・webを活用した特別支援学校のセンター的機能の強化

【学校教育目標】

一人一人の思いや願いを大切に、個性を生かしながら児童生徒の自立と社会参加をめざす教育の推進
～自立活動の視点から教育課程をオーダーメイドする～

附属特別支援学校の役割とセンター的機能

教員養成◇附属特支の役割

- ・教育学部2年生の参加実習(介護等体験)
- ・教育学部特別支援教育コース3年生の基本実習
- ・教育学部4年生のオプション実習
- ・大学院生の学校実習

地域の幼児及び保護者支援◇センター的機能

- ・ヤマミィー一む(幼児教育相談)の開設
- ・ヤマミィー一む保護者対象学習会
- ・大学と連携したペアレント・トレーニング
- ・教育学部やまぐち学園への継続的な指導者支援

大学と連携した実践

- ・ホースセラピー教室への参加(共同獣医学部)
- ・作業学習等における農業指導(農学部)
- ・大学教員との共同研究(教育学部)
- ・本校教育研究への支援(教育学部)
- ・本校教員研修への支援(教育学部)

共生社会の実現に向けた地域連携の取組

地域貢献・学校支援◇附属特支の役割

- 【理解・啓発】×【人間関係の形成】のベストミックス
- ・ふようまつり、まごころショップの開催
 - ・「つながるあいさつ標語」への取組
 - ・近隣小学校・中学校・高校との交流及び共同学習

人や地域をつなぐ◇センター的機能

- ・高等部における地域の企業等と連携した商品開発
- ・関係機関と連携したケース検討
- ・本人・保護者・関係機関をつなぐ進路連絡会

特別支援教育に関する現代的課題への解決に向けた取組

教育研究◇附属特支の役割

- ・自立活動の指導に関する授業研究
- ・自立活動を基軸とするカリキュラムモデルの開発

情報発信

【提案型】

効果検証

- ・授業検討会の実施
- ・授業づくり研修会の実施
- ・カリキュラムモデルの開発にかかる成果報告

アイデア助言

【課題解決型】

意見交流

- ・オンラインによるケース検討会の開催
⇒ 地域の小・中学校特別支援学級教員や特別支援学校教員とのケース検討
- ・オンラインによる公開研修会の開催
⇒ 基礎講座とちやぶ台方式の研究協議

特別支援教育の専門性向上(教員個々として/学校として)

【研究テーマ】育成すべき資質・能力を支える「自立活動」を基軸とした

カリキュラムモデルの開発(3年次)

— 自立活動の個別の指導計画の作成と活用をとおして —

自立活動の時間における指導としての「個別の課題学習」、「チャレンジタイム」、「集団自立」の実践の充実と整理

自立活動との密接な連携を図り行う教科等の授業づくりへの挑戦

学部を貫く4つの子ども像

興味関心を生かす子ども

- 小学部:好きなことの発見
- ◆周田とともに様々な経験を
 - ◆様々な経験から好きなことへ
- 中学部:好きなことの醸成
- ◆好きなことの深まり
 - ◆好きなことが自信へ
- 高等部:好きなことを強みに
- ◆好きなことで自分の生活を豊かに
 - ◆好きなことで社会とのつながりへ

自己肯定感を高める子ども

- 小学部:受け止められた実感に基づく自己理解
- ◆「できたね」「すごいね」「それでいいよ」の経験の蓄積
- 中学部:達成感に基づく自己理解
- ◆挑戦を繰り返す中で「できた」の実感
 - ◆他者から感謝される経験の蓄積
- 高等部:社会との関係に基づく自己理解
- ◆〇〇があれば、□□ができることの実感
 - ◆レジリエンス*注の向上

充実 【学びの準備】

- 【個別の課題学習】
・学習レディネスを整える
- 【チャレンジタイム】
・「好き」や「強み」の伸長から
- 【集団自立】
・協働性を高め、社会性の基礎を培う

【わかる・できる・つかえる 学び】

- 各教科 特別活動 道徳科 合わせた指導
- 総合的な学習の時間 総合的な探究の時間
- 地域連携教育活動
・交流及び共同学習(全)
・職場体験(中)
・現場実習(高)
・まごころショップ(高)

自立活動

自主性・主体性を獲得する子ども

- 小学部:自己選択・自己決定
- ◆選択・決定の経験の蓄積
 - ◆選択・決定による主体的な取組
- 中学部:自己選択・自己決定による課題解決
- ◆選択・決定による達成感の蓄積
 - ◆試行錯誤を経た課題解決
- 高等部:社会との関係を踏まえた自己選択・自己決定による課題解決
- ◆他者との関わりの中で選択・決定の蓄積
 - ◆他者との協働による課題解決

社会性を獲得する子ども

- 小学部:安心できる人間関係の醸成
- ◆思いが伝わる喜びを実感できる経験の蓄積
 - ◆他者との安心できる人間関係の醸成
- 中学部:コミュニケーションスキルの獲得と習熟
- ◆挨拶、マナー、言葉遣い
 - ◆心地よいコミュニケーション体験の蓄積
- 高等部:場や状況に応じたコミュニケーション
- ◆報告・連絡・相談
 - ◆良好な人間関係づくりの蓄積

*注:不利な状況において自身を対応させる能力。「回復力」「抵抗力」「復元力」「折れない心」などと訳される。

□チャレンジ目標

- 「あいさつ」
- 「マナー」
- *相手を意識した行動
- *相手を尊重した行動

重点課題(取り組むべき課題)

- 業務改善
・時間外勤務の削減
・働き方の意識改革
・チームでの取組強化
・カリマネの充実

- 情報発信
・各種たより
・ホームページ
・SNS
(Webの活用)

- 特色ある学校づくり
・教職員人材育成(特支の専門性)
・CSの連携・協働
・児童生徒の定員確保